

講義名:	セルフマネジメントⅡ①	講義時間数: 76時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示	単位数: 5単位	学年: 2年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	数的処理Ⅱ①	講義時間数:	45時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示	単位数:	3単位	学年:	2年
講義形式:	座学・演習			実施時期:	2023年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:					
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。				
到達目標:	①基本的計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。 ②難解な問題に対し、粘り強くアプローチし、解決することができる。 ③チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に着ける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	利益算(授業プリントによる講義、演習)	17回目	倍数と約数(授業プリントによる講義、演習)		
2回目	利益算(授業プリントによる講義、演習)	18回目	倍数と約数(授業プリントによる講義、演習)、確認テスト		
3回目	利益算(授業プリントによる講義、演習)、確認テスト	19回目	三平方の定理(授業プリントによる講義、演習)		
4回目	ニュートン算(授業プリントによる講義、演習)	20回目	三平方の定理(授業プリントによる講義、演習)、確認テスト		
5回目	ニュートン算(授業プリントによる講義、演習)	21回目	復習		
6回目	ニュートン算(授業プリントによる講義、演習)確認テスト	22回目	単位認定試験		
7回目	集合(授業プリントによる講義、演習)	23回目			
8回目	集合(授業プリントによる講義、演習)	24回目			
9回目	集合(授業プリントによる講義、演習)	25回目			
10回目	集合(授業プリントによる講義、演習)	26回目			
11回目	集合(授業プリントによる講義、演習)確認テスト	27回目			
12回目	整数問題(授業プリントによる講義、演習)	28回目			
13回目	整数問題(授業プリントによる講義、演習)	29回目			
14回目	整数問題(授業プリントによる講義、演習)	30回目			
15回目	倍数と約数(授業プリントによる講義、演習)	31回目			
16回目	倍数と約数(授業プリントによる講義、演習)	32回目			
授業教材等:					

講義名:	数的処理Ⅱ②	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合) 日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:			
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。		
到達目標:	①基本的計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。 ②難解な問題に対し、粘り強くアプローチし、解決することができる。 ③チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	総合演習プリントの実施(最終回のみ単位認定試験)		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	政治経済/新教養対策Ⅱ①	講義時間数: 46時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未	単位数: 3単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。 授業時間内に確認テスト、放課後に再テスト、再々テストを実施。		
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングを行う。		
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに関する自らの意見を持つ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし、解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	政治の諸問題①	17回目	復習、過去問題演習①
2回目	政治の諸問題②	18回目	復習、過去問題演習②
3回目	政治の諸問題③、課題	19回目	復習、過去問題演習③
4回目	政治の諸問題④、確認テスト	20回目	復習、過去問題演習④
5回目	国際経済①	21回目	復習、過去問題演習⑤
6回目	国際経済②	22回目	単位認定試験対策プリント配布
7回目	国際経済③、課題	23回目	単位認定試験
8回目	国際経済④、確認テスト	24回目	
9回目	日本経済の発展①	25回目	
10回目	日本経済の発展②	26回目	
11回目	日本経済の発展③、課題	27回目	
12回目	日本経済の発展④、確認テスト	28回目	
13回目	民主主義のあゆみ①	29回目	
14回目	民主主義のあゆみ②	30回目	
15回目	民主主義のあゆみ③、課題	31回目	
16回目	民主主義の歩み④、確認テスト	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント、『オープンセサミシリーズ 公務員国家公務員地方初級 政治・経済・社会』		

講義名:	政治経済/新教養対策Ⅱ②	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。 授業時間内に確認テスト、放課後に再テスト、再々テストを実施。		
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングを行う。		
到達目標:	時事問題に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに関する自らの意見を持つ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし、解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	労働問題①(レジュメによる講義)		
2回目	労働問題②(レジュメによる講義)		
3回目	労働問題③(レジュメによる講義)、課題		
4回目	社会保障①(レジュメによる講義)		
5回目	社会保障②(レジュメによる講義)		
6回目	社会保障③(レジュメによる講義)、課題		
7回目	人口問題①(レジュメによる講義)		
8回目	人口問題②(レジュメによる講義)、課題		
9回目	医療問題①(レジュメによる講義)		
10回目	医療問題②(レジュメによる講義)		
11回目	医療問題③(レジュメによる講義)、課題		
12回目	環境問題①(レジュメによる講義)		
13回目	環境問題②(レジュメによる講義)		
14回目	環境問題③(レジュメによる講義)、課題		
15回目	現代社会①(レジュメによる講義)		
16回目	現代社会②(レジュメによる講義)、課題		
授業教材等:	オリジナルプリント、『ニュース時事能力検定テキスト3・4級』		

講義名:	判断推理Ⅱ	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	座学		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える		
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めれば いいかなどを推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュ ニケーション力、献身的な考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	比較(講義・演習)		
2回目	比較(講義・演習)		
3回目	比較(講義・演習)		
4回目	比較(講義・演習)+確認テスト		
5回目	総合演習問題		
6回目	総合演習問題		
7回目	総合演習問題		
8回目	総合演習問題		
9回目	総合演習問題		
10回目	総合演習問題		
11回目	総合演習問題		
12回目	総合演習問題		
13回目	総合演習問題		
14回目	単位認定試験 復習		
15回目	単位認定試験		
16回目			
授業教材等:	オリジナルプリント、公務員ゼミナール(判断推理)		

講義名:	自然科学/人文科学Ⅱ	講義時間数: 38時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示/小童 望未	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	座学		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	人文科学は小テストあり。(小テストの結果によって追加課題が発生する)		
講義概要:	公務員試験で出題される人文系科目のうち、日本史分野中心に講義・演習を行う。 公務員試験で出題される自然系科目(生物・物理・科学・地学)について学ぶ。		
到達目標:	①わが国の歴史の主な事象について、人物の動きや出来事を中心に学ぶ。 ②歴史的思考力を養い、現代社会とのかかわりを考える力を身に付ける。 ③自然に属する諸々の対象を取り扱い、その法則性を明らかにするだけでなく、一般常識的な基礎知識を学ぶ。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	地学/地球の構造:授業プリントによる講義・過去問演習	17回目	明治時代③(授業プリントによる学習)
2回目	化学/物質の三態変化:授業プリントによる講義・過去問演習	18回目	明治時代④(授業プリントによる学習)
3回目	生物/植物の調節作用:授業プリントによる講義・過去問演習	19回目	単位認定試験
4回目	地学/気圧と風:授業プリントによる講義・過去問演習	20回目	
5回目	物理/電気:授業プリントによる講義・過去問演習	21回目	
6回目	生物/遺伝と仕組みと遺伝子の本体:授業プリントによる講義・過去問演習	22回目	
7回目	化学/酸と塩基:授業プリントによる講義・過去問演習	23回目	
8回目	総復習プリント演習	24回目	
9回目	単位認定試験	25回目	
10回目	江戸時代〔後期〕①(授業プリントによる学習)	26回目	
11回目	江戸時代〔後期〕②(授業プリントによる学習)	27回目	
12回目	江戸時代〔後期〕③(授業プリントによる学習)	28回目	
13回目	幕末①(授業プリントによる学習)	29回目	
14回目	幕末②(授業プリントによる学習)	30回目	
15回目	明治時代①(授業プリントによる学習)	31回目	
16回目	明治時代②(授業プリントによる学習)	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント、『オープンセサミシリーズ 公務員国家公務員地方初級 日本史、世界史、地理、思想』		

講義名:	就職対策Ⅱ(SPI・作文・面接)	講義時間数: 36時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)	実務経験:	
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	公務員試験に必要な作文対策・面接対策・問題演習等を総合的に行う。作文対策については文章の書き方について学び、テーマに沿って作文を書き、外部評価を受ける。また、自己分析、志望動機の作成を行い、面接対策につなげていく。		
到達目標:	①作文対策を通じ、論理的に考え、自身の意見を表現できるようになる。 ②自分の目指す職業について、求められる資質を理解し、思いを他者に伝えることができる。 ③SPI試験を実施する自治体にも対応できる基礎力を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	作文実践① 自己添削	17回目	面接練習(集団)
2回目	問題演習①(言語分野/非言語分野)	18回目	面接練習(集団)
3回目	問題演習②(言語分野/非言語分野)	19回目	
4回目	作文①返却⇒再実施	20回目	
5回目	作文実践② 自己添削	21回目	
6回目	問題演習③(言語分野/非言語分野)	22回目	
7回目	SPI模擬試験①	23回目	
8回目	問題演習④(言語分野/非言語分野)	24回目	
9回目	作文②返却⇒再実施	25回目	
10回目	作文実践③	26回目	
11回目	面接カード	27回目	
12回目	作文③返却⇒再実施	28回目	
13回目	問題演習⑤(言語分野/非言語分野)	29回目	
14回目	問題演習⑥(言語分野/非言語分野)	30回目	
15回目	面接練習(グループディスカッション)	31回目	
16回目	面接練習(グループディスカッション)	32回目	
授業教材等:	実務教育出版による作文添削。基礎から学ぶSPIベーシック問題集/実務教育出版、実践レベル		



講義名:	業界研究Ⅱ①/TKPⅡ①	講義時間数: 46時間	受講コース名: 公務員	
担当:	服部 成志・安廣 啓示	単位数: 3単位	学年: 2年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	フィールドワーク、官庁訪問など学外に出て活動あり TKP…外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業			
講義概要:	業界研究…希望する官庁、企業およびその業界について研究し、職業知識を深めると同時に自身の職業観、就職後のビジョンについて考える。 TKP…県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーする。			
到達目標:	業界研究…目指す業界、職業について正しい知識を身につけ、現状を理解したうえで自身のビジョンをもつ。業界の特性や求められる資質を理解することで、ミスマッチを減らす。 TKP…岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけではなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	探求活動・業界研究導入	17回目	業界研究・プレゼン資料作成	
2回目	テーマ設定・行動計画	18回目	業界研究・プレゼン資料作成	
3回目	業界研究・プレゼン資料作成	19回目	業界研究・プレゼン資料作成	
4回目	業界研究・プレゼン資料作成	20回目	業界研究・プレゼン資料作成	
5回目	業界研究・プレゼン資料作成	21回目	業界研究・プレゼン資料作成	
6回目	業界研究・プレゼン資料作成	22回目	最終発表	
7回目	業界研究・プレゼン資料作成	23回目	最終発表	
8回目	業界研究・プレゼン資料作成	24回目		
9回目	業界研究・プレゼン資料作成	25回目		
10回目	業界研究・プレゼン資料作成	26回目	※TKP…4/30(日)造山古墳 祭り参加気球飛行のお手伝い  10月に2回目の気球飛行を計 画。古墳ボランティア養成	
11回目	業界研究・プレゼン資料作成	27回目		
12回目	業界研究・プレゼン資料作成	28回目		
13回目	中間発表	29回目		
14回目	中間発表	30回目		
15回目	業界研究・プレゼン資料作成	31回目		
16回目	業界研究・プレゼン資料作成	32回目		
33回目				
34回目				
35回目				
36回目				
37回目				
38回目				
39回目				
40回目				
41回目				
42回目				
43回目				
44回目				
45回目				
46回目				
47回目				
48回目				
授業教材等:				

講義名:	模擬試験Ⅱ	講義時間数: 75時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	後田 祥吾	単位数: 5単位	学年: 2年
講義形式:	演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	日々学んだものを模擬試験を通して習熟度を確認。定期的に行うことで自分の成長度を図ることができ弱点克服にも活用することができる。(7月末には総合模擬試験を実施し、公務員試験を想定した内容で力を試す。)		
講義概要:	公務員試験の教養模擬試験(45問、100分、マークシート方式)および適性試験(120問、20分、マークシート方式)を行う。		
到達目標:	公務員試験受験に向けて実践的な訓練を積む。 学生が目標を持ち、計画的に目標達成する習慣を作るとともに復習を含めた学習習慣を作る。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	公務員試験教養模擬試験(45問100分、マークシート方式)		
	適性試験(120問20分、マークシート方式)		
授業教材等:	公務員試験過去問題集		

講義名:	総合演習Ⅱ	講義時間数: 46時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示	単位数: 3単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	総合的な対策を随時行う(公務員試験エントリーシート作成、各教科の補足的な内容、採用試験受験スケジュールの作成、業界研究等)		
到達目標:	採用試験合格に向けて、日々見落としてしまう内容を補い、準備が整った状態で受験を行う。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	行動計画表を作成し、各自の行動計画に沿って原則実施する		
授業教材等:	オリジナル教材等		

講義名:	一般知能実践(数的処理)Ⅱ	講義時間数: 45時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示	単位数: 3単位	学年: 2年
講義形式:	演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「数的処理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出をさせる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	数的処理の演習問題を4月~9月の間に出す。		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(判断推理)Ⅱ	講義時間数: 45時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 3単位	学年: 2年
講義形式:	演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。 指示通りのやり方ができていなければ再提出の可能性あり。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「判断推理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、記述までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	総合演習問題5月~8月分		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(政治経済)Ⅱ	講義時間数: 45時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未	単位数: 3単位	学年: 2年
講義形式:	演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。 指示通りのやり方ができていなければ再提出の可能性あり。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「政治経済」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、記述までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	政治経済の演習問題を1単元終了ごとに課題として課す。(4月~9月)		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	ヒューマンスキルプログラムⅡ	講義時間数: 16時間	受講コース名: 全コース
担当:	服部 成志	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 通年
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	担当教員:安廣、小童、横田、坂上、高橋、上村、服部		
講義概要:	前期3回:レジリエンス研修を通して困難や脅威に直面している状況に対して「うまく適応できる能力」「うまく適応していく過程」「適応した結果」を学ぶ。 後期5回:様々な職業経験のある先生方から各分野における講義を受け知識y視野を広げる。		
到達目標:	社会に出るにあたり、困難や脅威に対して自身のライフタスクを対応させる力を身に着ける。また、さまざまな職業経験のある講師から講義を受け知識はもちろんのこと、視野の幅を広げ社会人としてのマナーや考え方を学ぶことを目標とする。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	5/12(金) レジリエンス講義①アンガーマネジメント		
2回目	6/2(金) レジリエンス講義②良さの理解		
3回目	7/7(金) レジリエンス講義③リフレーミング		
4回目	11/10(金) クロス授業①		
5回目	11/17(金)クロス授業②		
6回目	12/1(金)クロス授業③		
7回目	12/8(金)クロス授業④		
8回目	12/15(金)クロス授業⑤		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	筆記用具、プリント教材		

講義名:	セルフマネジメントⅡ②	講義時間数: 63時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示	単位数: 4単位	学年: 2年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		



講義名:	試験対策Ⅱ	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	公務員試験の主要三科目である「数的処理」、「課題処理」、「政治経済」について、総合的に対策を図る。		
到達目標:	①主要三科目の演習を通し、本番を想定した問題に対応できるようになる。 ②教えあいを通じて、コミュニケーション能力を高め、学生同士が切磋琢磨し目標に向かって努力する力を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	数的処理①問題演習		
2回目	課題処理①問題演習		
3回目	政治経済①問題演習		
4回目	数的処理②問題演習		
5回目	課題処理②問題演習		
6回目	政治経済②問題演習		
7回目	数的処理③問題演習		
8回目	課題処理③問題演習		
9回目	政治経済③問題演習		
10回目	数的処理④問題演習		
11回目	課題処理④問題演習		
12回目	政治経済④問題演習		
13回目	数的処理⑤問題演習		
14回目	課題処理⑤問題演習		
15回目	政治経済⑤問題演習		
16回目	総復習プリント		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	体育Ⅱ	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: スポーツインストラクター歴 17年
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	・生涯にわたって運動やスポーツに親しむのに必要な素養と健康・安全に生きていくのに必要な身体能力, 知識などを身に付ける。		
到達目標:	・社会人となった時に必要な体力やストレス解消法を身につける。 ・自らの行動を振り返り、改善ポイントを自ら探し出すことができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	施設を利用して体力向上を図る		
授業教材等:	体育館、ミライアス		

講義名:	パソコン基礎/発展	講義時間数: 34時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	後田 祥吾・小童 望未	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 後田 パソコン教室 勤務歴3年
追試験実施:	無		
備考:	授業・単位認定試験共にパソコン必須。 講義後半にて実習課題を設けるので、その提出をもって単位認定とみなす。		
講義概要:	Word・Excelの基本的な使用・操作方法を学ぶ。		
到達目標:	Wordを使用し、基本的なビジネス文書が作成できる。 Excelを使用し、簡単な表・グラフが作成できる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	Word基本操作①	17回目	単位認定課題実習
2回目	Word基本操作②	18回目	
3回目	Word基本操作③	19回目	
4回目	Word基本操作④	20回目	
5回目	Word基本操作⑤	21回目	
6回目	Word基本操作⑥	22回目	
7回目	Word基本操作⑦	23回目	
8回目	Excel基本操作①	24回目	
9回目	Excel基本操作②	25回目	
10回目	Excel基本操作③	26回目	
11回目	Excel基本操作④	27回目	
12回目	Excel基本操作⑤	28回目	
13回目	Excel基本操作⑥	29回目	
14回目	Excel基本操作⑦	30回目	
15回目	単位認定課題実習	31回目	
16回目	単位認定課題実習	32回目	
授業教材等:	個人用ノートパソコン		

講義名:	業界研究Ⅱ②/TKPⅡ②	講義時間数: 20時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志・安廣 啓示	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	フィールドワーク、官庁訪問など学外に出て活動あり TKP…外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	業界研究…希望する官庁、企業およびその業界について研究し、職業知識を深めると同時に自身の職業観、就職後のビジョンについて考える。 TKP…県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーする。		
到達目標:	業界研究…目指す業界、職業について正しい知識を身につけ、現状を理解したうえで自身のビジョンをもつ。業界の特性や求められる資質を理解することで、ミスマッチを減らす。 TKP…岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけでなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
2回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
3回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
4回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
5回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
6回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
7回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
8回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
9回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
10回目	最終発表		
11回目			
12回目	※TKP…岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリー		
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	簿記基礎Ⅱ	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	座学		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	全国経理検定協会・簿記3級テキストを使用し、お金の流れや簿記の基礎知識を学ぶ。		
到達目標:	自己分析に基づいた自身の強みや職業に対する想いを、自らの言葉で伝えられるようになる。 チームでの教え合いを通して、コミュニケーション力、献身的な考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション		
2回目	身のまわりの簿記		
3回目	仕訳と転記①		
4回目	仕訳と転記②		
5回目	決算の手続き①		
6回目	決算の手続き②		
7回目	現金と当座預金①		
8回目	現金と当座預金②		
9回目	商品売買①		
10回目	商品売買②		
11回目	商品売買③		
12回目	マネジメントゲーム①		
13回目	マネジメントゲーム②		
14回目	マネジメントゲーム③		
15回目	単位認定試験対策		
16回目	単位認定試験		
授業教材等:	全国経理検定協会・簿記3級テキスト		

講義名:	ビジネス基礎Ⅱ	講義時間数: 36時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	電話実習の実施を単位認定の要件とする		
講義概要:	電話対応の実習、名刺交換や席次、冠婚葬祭など、社会人の基本マナーを身につける		
到達目標:	社会人として必要な一般常識や、社会生活を送るうえで知っておくべき基本的な知識を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	敬語、言葉遣いについて	17回目	一般常識③
2回目	電話対応①	18回目	一般常識④
3回目	電話対応②	19回目	
4回目	電話対応③	20回目	
5回目	電話対応④	21回目	
6回目	電話対応⑤	22回目	
7回目	来客対応、名刺交換	23回目	
8回目	お茶出し	24回目	
9回目	冠婚葬祭①	25回目	
10回目	冠婚葬祭②	26回目	
11回目	冠婚葬祭③	27回目	
12回目	冠婚葬祭④	28回目	
13回目	テーブルマナー①	29回目	
14回目	テーブルマナー②	30回目	
15回目	一般常識①	31回目	
16回目	一般常識②	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	卒業制作Ⅱ	講義時間数:	34時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示	単位数:	2単位	学年:	2年
講義形式:	演習			実施時期:	2023年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無				
備考:					
講義概要:	学校生活を振り返り、自身の成長や挫折、学びについて考えプレゼンテーションする。				
到達目標:	①今ある環境を肯定的に受け入れ、周囲への感謝の気持ちを持つ。 ②自己肯定感・自己効力感を高める。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	授業の目的・スケジュール確認	17回目	プレゼンテーション発表④		
2回目	プレゼン準備①	18回目			
3回目	プレゼン準備②	19回目			
4回目	プレゼン準備③	20回目			
5回目	プレゼン準備④	21回目			
6回目	プレゼンテーション発表①	22回目			
7回目	プレゼンテーション発表②	23回目			
8回目	プレゼンテーション発表③	24回目			
9回目	プレゼン準備①	25回目			
10回目	プレゼン準備②	26回目			
11回目	プレゼン準備③	27回目			
12回目	プレゼン準備④	28回目			
13回目	プレゼン準備⑤	29回目			
14回目	プレゼンテーション発表①	30回目			
15回目	プレゼンテーション発表②	31回目			
16回目	プレゼンテーション発表③	32回目			
授業教材等:					